

亀山湖 オータムフェスティバル



亀山湖オータムフェスティバル実行委員会

先ずはこちらをご覧下さい



とは

。11月下旬より12月上旬のおよそ3週間楽しむイベントが開催される。かなり遅いでは本州一遅い紅葉とも言われている。



昨年は千葉県秋の観光PRポスターに亀山湖の紅葉が採用された

養老溪谷

亀山湖

オータムフェスティバルの変遷

1996年

東京大学千葉演習林が秋の紅葉に合わせて無料一般開放を始める



1999年

亀山ダム管理事務所からの提案により、第1回オータムフェスティバルが行われる

2000年

JR駅からハイキングに上総亀山駅が選ばれる。



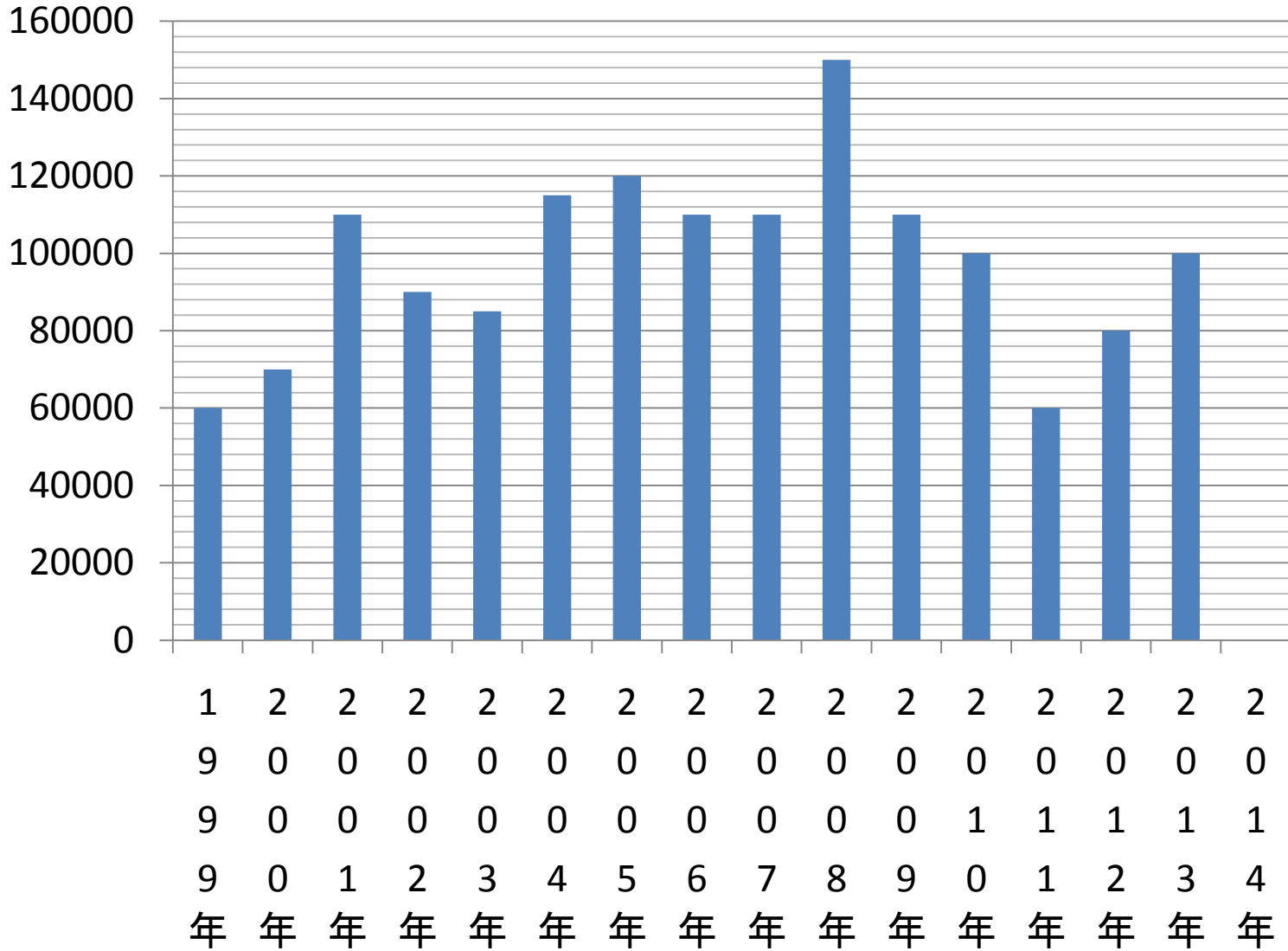
2006年

君津市市税1%事業に登録され、事業予算拡大に基づき、よりフェスティバルを安全かつより盛り上げられるようになった。

2013年

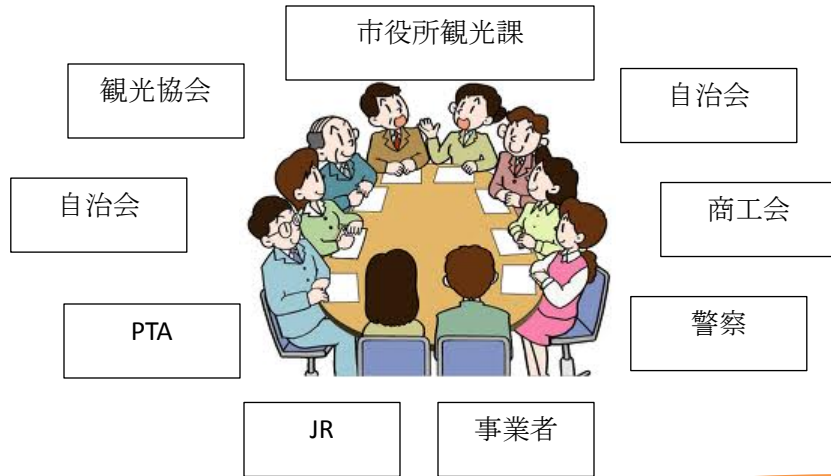
第14回目のオータムフェスティバル、市税1%事業登録より7回を数え、遂に期間中10万人の観光客の誘致に成功する(主催者発表)

観光客入札込人数



オータムフェスティバルの実組織とは

3週間にもおよび、およそ10万人の観光客が訪れるこのイベントには、官民あわせて地元一丸となった実行委員会で活動されている。



官民だけでなく、地元自治会や小中学校、またPTAも実行委員会に組織することで、地元としてもおもてなしを表現している。とくに中学生によるイベントのガイド役、また豚汁配布には多くの方から「印象に残った」「とっても良かった」とお声を頂いている。

観光協会がまた何かやっている！！
ではなく、地元が一丸となって地元の良さを伝える素晴らしい機会であり、特に子供達へ地元の良さ観光の魅力を教えるきっかけになっている。誰かがやっているではなく、みんなでおもてなしをして取り組む。

つまりそれこそが地域活性化なのではないか

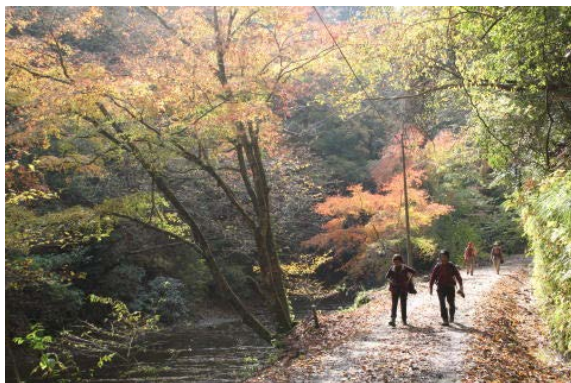
オータム期間中イベント紹介



亀山湖紅葉狩りクルーズ

決して陸からは見ることの出来ない溪谷の上流秘境を巡る40分間のクルーズ。手つかずの自然のありのままの紅葉は息をのむ美しさ。期間中のピークの土日には全ての席が埋まるほどの人気ぶりです。

是非乗船いただきたい一番のおすすめな紅葉の楽しみ方です。



フリーハイキング

大小さまざまな全7コースのフリーハイキングコースが設置されています。ご自身のペースで歩けるフリーハイキング、東大演習林の開放日には5000人を超えるハイカーが普段見ることが出来ない演習林内にいらっしやいます。



ふるさと物産市

地元のおもてなし。自家栽培された野菜や山菜、またお漬物、お米など、お父さんお母さんのふるさとの味が沢山並びます。ただ買うだけでなく、そこでお茶をしながら、会話を楽しんでいる様子もうかがえます。

まさに地域と観光客との触れ合いがここにあります。



亀山ダムウォッチング

ダムの放流や普段は入れないダム内部の見学又操作室の見学ができます。特別放流は目の前で見ることが出来るため、その迫力に圧倒されること間違いなしです。



おトク！バザー開店

地元亀山地区小中学校合同PTAによるバザー。いいモノ掘り出し物が沢山ございます。PTAも子供も大きな声を張り上げながら元気よく販売しております。1日だけですが、本当にたくさんの方が集まります。



亀山オータムフェスティバル名物大なべ豚汁

およそ1000人前を一度に作れる大なべで豚汁を限定で無料配布しております。地元で作られた野菜とお味噌、こんにゃくで作った愛情たっぷりの豚汁は、土日に長蛇の列が出来るほど大人気です。

その他にもネイチャークラフト創りやフォトコンテストも開催されております

当イベントがもたらす効果と今後への課題

東京都内からわずか70分というアクセスにかかわらず、大自然残る亀山の良さを多くの方にアピールが出来る

地元住民が地元の良さを再認識するきっかけとなる

物産市など自分で作った野菜やお弁当などを販売することにより、日常ではないコミュニケーションが生まれ、お金を稼ぐことが出来る

ふるさと物産市やハイキングなどを通して地元住民（子供達）と観光客との触れ合いが行われる

もっと体験型の催しを増やすことで観光客の思い出作りを助長させる仕組み作り

観光アルバイトをもっと増やすことでより観光客との会話の量を増やす必要がある

この時期は圧倒的に飲食店や宿泊施設が足りなくなる

秋の紅葉だけが突出して観光地化しているが、年間を通じての集客を考える必要がある

ああ紅葉綺麗だったね
よかったねで終わらせないこと



そう、これからの里山の可能性とは・・・